

# 目に見えない プレゼント

## Christmas Kisses クリスマスのキス

きらきらする金色の紙で小さな箱を包む女の子の目は喜びで輝いていました。3才のその子は、クリスマスツリーの下に置くプレゼントを包んでいたのです。ところが、疲れて帰ってきた父親に、金色の包装紙を無駄にするなど叱られてしまいました。生活は厳しくて、金色の包装紙は高価なものでしたから。

クリスマスの朝、幼い娘は父親のところへ金色で包んだ箱を持って行って、こう言いました。「はい。これはパパのため。」

父親は、自分が包装紙のことで行き過ぎた反応をしてしまったことで決まり悪く思いましたが、箱の中に何も入っていないのを見ると、またもや怒ってしまいました。娘が悪ふざけをしていると思ったのです。

「誰かにプレゼントをあげる時には、ちゃんと中身を入れておくものだ！」

涙で目を潤ませた女の子は、父親を見上げて言いました。「パパ、空っぽじゃないわ。私、箱の中に投げキスをいっぱい入れたの。みんなパパのためよ。」

父親は愕然として、思わず娘を抱きしめると、何度も謝りました。今ではその子は成長し、もう父親に抱きつくような年頃ではありません。しかし、この父親は、それ以来何年も、自分のベットのそばにその箱を置いておきました。落胆した時にはいつでもこの箱を手にして娘からのキスを想像し、その箱につまっている娘の愛を思ったのです。



## Gifts of Love 愛の贈り物

成功した若い弁護士が言いました。「僕が今までに受け取った中で最高の贈り物は、あるクリスマスに父がくれた小さな箱です。中には小さなメモが入っていて、こう書いてありました。

『息子よ、今年私はおまえに365時間をプレゼントする。毎日夕食後の1時間はおまえのものだ。おまえが話したいことを話そう。行きたいところはどこでも行こう。おまえの遊びたいことをして遊ぼう。その時間はおまえの時間だからね！』

父は約束を守り、おまけに、毎年、約束を更新してくれたのです。これが、僕が受け取った最高の贈り物でした。父がそうやって時間をとってくれたことで、今の僕があるんです。」



大切なのは、何をあげるかではなく  
何を分かち合うか。  
贈り主のない贈り物には  
あまり意味がないから。